

コロナに負けず 夏を元気に!

夏は、熱中症や食中毒、花火・水難事故などが起こりやすい時期です。
これらに注意しながら安全に楽しく過ごし、コロナ禍の夏を乗り越えましょう。

食中毒

気温や湿度が高まると、食中毒が発生しやすくなります。
テイクアウトを利用する時も注意しましょう。

また、食中毒の疑いがある時は、医療機関を受診しましょう。

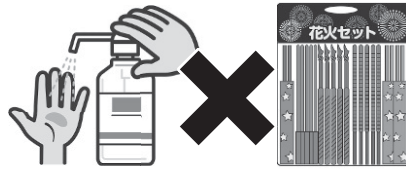
☎食品衛生課 (☎222-9925 FAX222-1406)

- ・食品を買ったら長時間持ち歩かない。
- ・持ち帰ったらすぐに食べる。
- ・常温で保存せず、食べない時は冷蔵庫へ。
- ・再加熱はしっかり中心まで。
- ・食べる前にしっかり手を洗う。



花火

花火で遊ぶ機会が多くなるシーズンが到来します。手指消毒のアルコールに花火が引火する事故が発生する恐れがありますので注意しましょう。



- ・アルコールで消毒をした直後に花火をしない。
- ・花火の後も、水と石けんで手を洗い感染予防を。
- ・花火をするときは、絶対人に向けない、風の強い時はしない、遊び終わった後は水につけて火を消すなど、ルールを守り安全に。

花火のルールと注意点については動画をチェック

☎消防局危険物保安課 (☎238-6006 FAX228-8161)



水難事故

密を避け海辺や川で遊ぶときも、水難事故に注意しましょう。

- ・小さい子どもに大人が付き添い、目を離さない。
- ・天候の変化に応じて、遊泳や川岸でのキャンプを中止する。
- ・釣りやボートなどのレジャーは、ライフジャケットを着用。
- ・疲れている時や飲酒時は遊泳しない。
- ・事故が起きた時は、周囲に助けを求め、直ちに119番通報を。

☎消防局警防課 (☎238-6047 FAX238-7791)



熱中症

暑さを避け、こまめに水分を補給するなど、熱中症に注意しましょう。また、エアコン使用中も換気を行い、新型コロナウイルス感染症にも気を付けましょう。

☎保健医療課 (☎228-7582 FAX222-1406)

堺に広がる SDGsアクション

ものづくりをとおして 皆が笑顔になる仕組みを広げたい

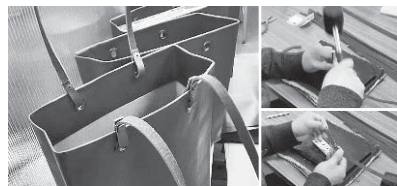


作る人と使う人の
良い関係を
ずっと続けたい



インソップ企画

常務 永井 久雄さん(左)
企画制作室長 藤原 利行さん(右)



革製品とその製作風景

インソップ企画は、持続可能な社会をめざす「ZUTTO project」として、本来廃棄される食用牛の革を利用し、障害者福祉施設の方々と一緒にバッグを製作。働き甲斐の創出と産業廃棄物の削減を両立した製品を作っています。

SDGsとは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略で、地球に住み続けるための世界共通の目標のことです。この目標に取り組む「さかいSDGs推進プラットフォーム」の会員の企業・団体をシリーズで紹介します。

☎SDGs推進プラットフォーム専用ダイヤル ☎340-2179
さかいSDGs推進プラットフォーム会員募集中! ☎



参加する誰もが輝きながら 支え合う場を地域に



皆が自分色を出し、
心地よく暮らせる
地域をつくりたい!



こども食堂で障害のある方が
提供するレクレーション



inC

代表取締役 田淵 誠さん(中)
取締役 梶 兼さん(右)
取締役 下田 丈太さん(左)

inCでは、障害のある方の活動意欲と地域活動団体のニーズをマッチングし、お互いに活動できる場を提供しています。地域のこども食堂やサロンなどを盛り上げ、皆が輝きながら心地よく暮らせる地域づくりに取り組んでいます。

●体調がすぐれないときは外出を控えましょう。マスクの着用・こまめな手洗い・消毒・うがいをし、3密を避けましょう。